

度重なる大雨にも負けない！秋を彩るコスモス畑の“再・再スタート” ～ふたたび立ち上がる約6,300㎡の花畑、10月中旬の開花に向けて前向きに復旧中～

東京ドイツ村（所在地：千葉県袖ヶ浦市・運営：明和興産株式会社）では、毎年秋の風物詩としてご好評をいただいている「コスモス畑」につきまして、度重なる豪雨の影響を受けつつも、10月中旬の開花に向けてスタッフ一丸となり復旧作業に励んでおります。

自然の試練と向き合いながらも、一歩ずつ芽吹きを目指して奮闘するコスモス畑の「今」と、秋の開花に向けた取り組みについてお知らせいたします。

■ 度重なる大雨の試練と、スタッフの奮闘

今年8月に発生した「令和8年8月千葉豪雨」の際、当園ではコスモスの種を蒔く準備を整えていた花畑の土が流出してしまうという被害に見舞われました。しかし、楽しみに待ってくださる来園者の皆様の笑顔を思い、スタッフが一丸となって流出した土を戻し、丁寧に整地を行い、無事に種蒔きを完了させておりました。

10月中旬の開花を今か今かと待っていた矢先、9月6日夜から7日午前中にかけての大雨により、ふたたび花畑が影響を受けることとなりました。度重なる自然の猛威ではございますが、当園のスタッフは決して諦めておりません。現在、ふたたびお花畑の復旧作業に総力を挙げて取り組んでおります。



四季の丘（2026年9月7日撮影）



四季の丘（2026年9月7日撮影）

■ 10月中旬の開花に向けて

精いっぱいの復旧作業を試みておりますが、9月の大雨の影響により、例年の見頃時期（10月中旬頃）には一部開花の遅れや密度の変化など影響が出てしまう見込みです。何卒ご理解と温かいご容赦をいただけますと幸いです。

しかしながら、過酷な環境を乗り越えて健気に芽を出し、咲かせるコスモスのたくましい姿は、きっと訪れる皆様に勇気と元気に満ちた秋をお届けできるものと信じております。満開のコスモス畑を楽しみにお待ちしております。皆様におかれましても、季節の移り変わりとともに力強く生長していくコスモスのストーリーを、温かく見守っていただけますと幸いです。成長の過程や開花状況につきましては、随時取材・撮影のお受け入れをしております。

■ 東京ドイツ村「コスモス畑」概要

秋の風物詩であるコスモスが計6,300㎡の敷地に咲き誇ります。ドイツ風の建物と調和するヨーロッパアンガーデン、そして大自然を見渡す四季の丘、それぞれで表情の異なるノスタルジックな風景をお楽しみいただけます。

ヨーロッパアンガーデン：（面積）4,000㎡ （品種）ドワーフセンセーション（可愛らしく鮮やかな定番のコスモス）
四季の丘：（面積）2,300㎡ （品種）レモンブライト（爽やかなレモンイエローが広がるコスモス）

※開花状況や復旧の進捗については、公式WebサイトおよびSNSにて随時発信してまいります。